

開館時間 (火)～(金) ▶ 9時～17時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9時～16時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始



はるなちゃんからお母さんへの心温まるなぞなぞの答えは?

だいききひゃっかい

絵・大島 妙子
作・村上 しいこ
(岩崎書店)

夜になって寝る前に行くところはどこ? はるなちゃんは、お母さんにききます。おやすみなさいをする前にすることがたくさん。なかなかお布団へは行けません。だって、お母さんがだいききなんだもの! はるなちゃんのにこにこ顔がかわいい絵本です。

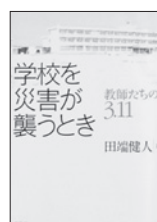


神去村にやってきた若者の田舎暮らしと村の人々との日常

かむさり やわ 神去なあな夜話

作・三浦 しをん
(徳間書店)

高校を卒業後、林業の仕事に就いた20歳の青年・平野勇気は、都会の暮らしから遠く離れた山奥で暮らすことになります。チェーンソーなど持ったこともなかった主人公が、山での仕事や村の人々との触れ合いの中で成長していきます。心が温かくなるお話です。



あの日乗り越えて教師と児童たちの復興への記録

学校を災害が襲うとき 教師たちの3.11

作・田端 健人
(春秋社)

東日本大震災が発生した3月11日は、多くの学校で卒業式が行われる頃でした。本書は、津波被害が大きかった学校に勤務していた先生たちに、震災発生時の状況から学校再開までの聞き取り調査を行い、未曾有の災害を体験した先生たちの貴重な生の声をまとめた労作です。

「おすすめの新着本」

子育て支援施設 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～、
13時30分～

- 2/2(土) おしゃれ封筒作り
- 2/9(土) おりがみあそび
- 2/16(土) メルヘンタイム
- 2/23(土) おひなさま作り
- 3/2(土) 写真立て作り
- 3/9(土) おりがみあそび

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時

2/13(水) 『講演』

(講師：福岡教員養成所 古賀由美子先生)

※2/12(火)は2/13(水)に変更になっています

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜(祝日休み)

10時～12時

場所 多久市児童館

◆園庭開放(杉の子保育園内)

日時 月～土曜日(祝日休み)

9時～14時

◆子育て相談(電話相談可)

日時 月～土曜日(祝日休み)

9時～17時

【2月の休館日】

4日(月)、11日(月)、
18日(月)、25日(月)、
28日(木・月末整理)

3月2日(土)、3日(日)は
全館停電のため臨時休館
します。

3月1日(金)17時から4日
(月)まで、電気工事のため
に図書館のホームページ
は利用できません。5日
(火)から利用できます。

児童向き

- ◆三びきのごきげんなライオン (デューボアザン)
- ◆いただきますーす! (荒井 良一)
- ◆ぼくは昆虫カメラマン (新開 孝)
- ◆11をさがして (ギフ)
- ◆だつこのおにぎり(つちだ のぶこ)

一般向き

- ◆経営者に贈る5つの質問 (ドラッカー)
- ◆「朝敵」たちの幕末維新 (新人物往来社)
- ◆レモンとねずみ (石垣 りん)
- ◆もういちど生まれる (朝井 リヨウ)
- ◆楽園のカンヴァス (原田 マハ)

「その他おすすめの本」

人権教育 No. 190

とも生

「感謝」の気持ち

これまでの、たくさんの人との出会いを振り返ると、私はどれほど多くの人に支えられ、助けられてきたことかと、改めて実感し感謝の気持ちでいっぱいになります。

初めて出会う人たちも、人と人とはどこかで繋がっていて、自分と無関係ではないことが結構多いものです。例えば、共通の知人がいたり、今まで一緒にいることはなかったけれど、同じ活動をしていたり。そういう人と人との繋がりが、私の人としての糧となり力となってきました。

仕事も家事も趣味の活動も、自分ひとりで頑張ってきたように思っていました。しかし、私ひとりの力を微々たるもので、さまざまな出来事乗り越えてこられたのは、まぎれもなく私に関わってくれた、多くの

人たちの支援があったからこそだと感謝しています。

私たちの社会は、たくさんの方の法律や社会のルールの上に成り立っています。しかし、その法律やルールだけでは、私たちの生活は到底成り立ちません。

周りの人に感謝する心や思いやりの心、人を許す心・・・こういう気持ちが無ければ職場でも家庭でも、人権が守られる住みよい社会とは言えません。

社会とは、やはり人が創り上げるものです。人と人との絆が結ばれて、感謝の気持ちや思いやりの心で、一人ひとりの人権が守られ、大切な夢が育まれていくのです。

初めて出会う人との絆も、これまでも、自分を支え助けてくれた人との絆も、そして、これから出会う人との絆にも、「感謝」の気持ちを忘れず、その絆を大切にすることが、人権尊重への第一歩ではないでしょうか。

社会教育指導員 福島 かおり